

はやま住民福祉センターだより

今月のテーマ

赤い羽根共同募金 ~皆様のご理解とご協力をお願いいたします~

共同募金は、戦後間もない昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動として始まりました。

当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。

神奈川県共同募金会葉山町支会(葉山町社会福祉協議会内)

今年も、「赤い羽根募金(10月)」と「年末たすけあい募金(12月)」を実施させていただきます。

じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金



【 昨年 の “募金実績” と “配分実績” 】 寄付金総額 7,760,601円

赤い羽根募金 4,011,680円
年末たすけあい募金 3,748,921円

“赤い羽根募金”のつかいみち

- ★葉山町内の在宅福祉サービス(家事介護・配食)団体の活動費として ⇒ 2団体 400,000円
- ★神奈川県内の福祉施設・団体などの活動費・整備費等として ⇒ 1,280,601円
- ★葉山町社協の令和4年度事業費(※)の一部として ⇒ 2,331,079円

“年末たすけあい募金”のつかいみち

- ★年末たすけあい支援費として
プレゼンテーション審査会を経て、子育て・障害児者や不登校児童の支援など住民主体の福祉活動に対して助成 ⇒ 3団体 1,100,000円
- ★葉山町社協の令和4年度事業費(※)の一部として ⇒ 2,648,921円

(※)令和4年度葉山町社協では共同募金配分金を以下の各事業などに活用させていただいています。

地域の福祉活動への助成事業 2,574,000円

- ・ふれあいいきいきサロン助成事業
- ・小地域福祉活動推進組織助成事業
- ・年末たすけあい運動助成事業 など



その他、地域福祉に関する事業 2,406,000円

- ・各種講座・研修会の開催
- ・介護用品のお届け
- ・はやま地域活動ガイドブックの増刷
- ・活動資機材の貸し出し など



●住み続けたい街ランキング 2022<首都圏版> 葉山町が2年連続 第1位!

住み続けたい街ランキングは、大東建託株式会社(株)が、過去最大級の調査を行い、「街の幸福度&住み続けたい街ランキング2022<首都圏版>」として集計しました。「ずっと住んでいたい」という設問に対して、そう思う:100点、どちらかと言えばそう思う:75点、どちらでもない:50点、どちらかと言えばそう思わない:25点、そう思わない:0点とした場合の平均値でランキングを作成。2年連続で第1位に選ばれました!

葉山町社協として、これからも住み慣れた葉山町で、いつまでも自分らしく住み続けられるように、地域の助け合いや活動を支援して、新しい取り組みも一緒に作り上げていきたいと思いません。

■住み続けたい街(自治体)ランキングTOP10

順位	昨年	自治体名		偏差値	評点	回答数
1位	1位	神奈川県	三浦郡葉山町	82.7	70.5	129
2位	3位	神奈川県	鎌倉市	74.2	67.1	751
3位	4位	神奈川県	横浜市西区	72.1	66.3	584
4位	2位	神奈川県	逗子市	72.0	66.3	263
5位	5位	千葉県	印西市	71.3	66.0	433
6位	8位	神奈川県	茅ヶ崎市	70.3	65.6	1,035
7位	7位	神奈川県	藤沢市	69.5	65.3	1,866
8位	11位	東京都	目黒区	69.3	65.2	1,615
9位	12位	東京都	武蔵野市	69.0	65.1	663
10位	9位	東京都	文京区	69.0	65.1	1,365

回答数 177,234名